

2026年2月10日

報道機関 ご担当者 各位

河合塾グループ
株式会社 KJホールディングス

【河合塾グループ×徳島県鳴門市】
「新設校『ドルトンX学園高等学校』滞在型学習拠点開設に関する連携協定」を締結
～鳴門市に高校生の学習・滞在拠点を開設。地域と協働した探究学習を実施～

河合塾グループの本社機能を担う株式会社KJホールディングス（東京都新宿区、代表取締役社長：河合英樹）は、当グループが2027年4月に新たに開校する「ドルトンX学園高等学校」の滞在型学習拠点を徳島県鳴門市に開設します。本件に関して、2026年2月3日に当社と鳴門市（市長：泉理彦）・鳴門市教育委員会（教育長：阿部孝弘）の3者で連携協定を締結しました。

本連携協定を契機に、広域通信制高校滞在型学習拠点の運営をはじめ、関係人口の創出・拡大や地域課題解決型探究学習を通じた地域活性化など、しっかり連携を深めながら、これからの社会を担う人材の育成に取り組んでまいります。

【ドルトンX学園高等学校について】

ドルトンX学園高等学校

河合塾グループが2027年4月に岩手県において開校する「国内外の地域拠点に滞在しての探究学習とオンラインの学び」を実現する広域通信制高校。＊認可申請準備中
最大の特色は高校2年時に行う地域での探究学習で、国内外の複数の地域拠点から生徒自身が選択し、約3か月単位で滞在（最大4～5か所）、そのうちの1か所として鳴門市に滞在型学習拠点を開設するものです。

本校所在地 岩手県一関市花泉町油島上築道34番地1
学校Webサイト <https://www.daltonx.ed.jp/>

■ 拠点開設の経緯

ドルトンX学園高等学校の開設にあたり、河合塾グループは生徒の探究学習の拠点を国内外で検討していました。一方、鳴門市は関係人口の創出・拡大を通じた地域活性化や高等教育機関の誘致を「なると未来づくり総合戦略2025」の主要施策と位置づけ、積極的に推進しています。このたび、同市からプロスポーツやミュージカル、中心市街地活性化といった探究テーマや、高校生の滞在场所・学習拠点の双方で魅力的な提案をいただき、今回の協定締結に至りました。



左から、泉理彦 鳴門市長、古屋輝周 KJホールディングス執行役員、阿部孝弘 鳴門市教育長

■拠点開設に向けて連携協定を締結

（１）締結日

2026年（令和8年）2月3日

（２）連携協力事項

- 広域通信制高校滞在型学習拠点の運営に関すること
- 関係人口の創出・拡大に関すること
- 地域課題解決型探究学習を通じた地域活性化に関すること
- 人材交流及び人材育成に関すること
- 教育的課題解決に関すること

■主な取り組み

（１）探究テーマ・地域フィールドワーク

- 徳島ヴォルティスとのプロスポーツ盛り上げプロジェクト ＊J2に所属するプロサッカーチーム
- 鳴門市の元地域おこし協力隊とのミュージカル制作
- 大道銀天街（おおみちぎんてんがい）をはじめとした中心市街地活性化 など

（２）地域での滞在型学習拠点

- 鳴門市を訪問する高校生の滞在場所として、国立大学法人鳴門教育大学の協力を得て、同大学の職員宿舎を活用予定
- 高校生が集まって学習する拠点として、大道銀天街周辺の空きテナントを活用予定

[株式会社KJホールディングスについて]

塾・予備校や中学・高等学校、専門学校をはじめ、教育に関するさまざまなサービスを展開する河合塾グループの本社です。

本社：〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-2 四谷グローバルスタディスクエア

代表：代表取締役社長 河合 英樹

WEBサイト：<https://www.kawaijuku.jp/>

[徳島県鳴門市について]

四国の東に位置し、四国の玄関口とされるまちです。淡路島との間には市名の由来となった鳴門海峡があり、日本百景にも選定された美しい景観と、世界でも珍しい渦潮が発生する場所として有名。日本最大規模の美術館である「大塚国際美術館」や自然アクティビティである「シーカヤック」をはじめとした観光資源も充実。本連携協定が扱う探究学習のテーマのひとつ徳島ヴォルティスのホームスタジアム「鳴門・大塚スポーツパークポカリスエットスタジアム」は鳴門市内に所在しています。

鳴門市役所：徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜170

市長：泉 理彦

WEBサイト：<https://www.city.naruto.tokushima.jp/>

－ 本件に関する報道関係者様のお問い合わせ先・取材申込先 －

河合塾グループ広報センター 【TEL】03-6811-5508

【E-mail】press@kawaijuku.jp 【受付時間】9:00～18:00（土日祝・年末年始を除く）